

市議会だより

四万十市

議会だより

No. 47



2016. 11. 1 発行



〔不破八幡宮にて〕やぶさめ

～もくじ～

- 議案 … 1ページ
- 一般質問 … 3ページ
- トピックス … 13ページ



〔不破八幡宮にて〕上げ馬



ライブ中継は…



録画中継は…



フェイスブックは…



ホームページは…



LINEは…

QRコードから情報を
知りたいときの手順は…



スマホのバーコード
アプリから… 読み取るだけ！！

平成28年9月定例会

四万十市議会9月定例会は、9月5日に開会し、9月23日までの19日間の会期で開催されました。

今期の定例会には、執行部から「27年度決算の認定17件」「平成28年度補正予算13件」「条例の改正及び廃止4件」その他2件と議員提出議案3件が提出され、慎重に審議を行いました。

一般質問では、9名が「市長の政治姿勢」、「教育行政」、「農業振興」、「介護保険など」について質問を行いました。

詳細については、4ページから掲載しています。

【議案】※「四万十市」の文字は省略しています。

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
1	平成27年度 一般会計決算の認定	全会一致認定	19	平成28年度 国民健康保険会計事業勘定補正予算	全会一致可決
2	平成27年度 国民健康保険会計事業勘定決算の認定	全会一致認定	20	平成28年度 国民健康保険会計診療施設勘定補正予算	全会一致可決
3	平成27年度 国民健康保険会計診療施設勘定決算の認定	全会一致認定	21	平成28年度 後期高齢者医療会計補正予算	全会一致可決
4	平成27年度 奥屋内へき地出張診療所会計決算の認定	全会一致認定	22	平成28年度 下水道事業会計補正予算	全会一致可決
5	平成27年度 後期高齢者医療会計決算の認定	全会一致認定	23	平成28年度 と畜場会計補正予算	全会一致可決
6	平成27年度 下水道事業会計決算の認定	全会一致認定	24	平成28年度 幅多公設地方卸売市場事業会計補正予算	全会一致可決
7	平成27年度 と畜場会計決算の認定	全会一致認定	25	平成28年度 農業集落排水事業会計補正予算	全会一致可決
8	平成27年度 幅多公設地方卸売市場事業会計決算の認定	全会一致認定	26	平成28年度 介護保険会計保険事業勘定補正予算	全会一致可決
9	平成27年度 住宅新築資金等貸付事業会計決算の認定	全会一致認定	27	平成28年度 簡易水道事業会計補正予算	全会一致可決
10	平成27年度 鉄道経営助成基金会計決算の認定	全会一致認定	28	平成28年度 園芸作物価格安定事業会計補正予算	全会一致可決
11	平成27年度 農業集落排水事業会計決算の認定	全会一致認定	29	平成28年度 水道事業会計補正予算	全会一致可決
12	平成27年度 幅多中央介護認定審査会会計決算の認定	全会一致認定	30	平成28年度 病院事業会計補正予算	全会一致可決
13	平成27年度 介護保険会計保険事業勘定決算の認定	全会一致認定	31	平成28年度 病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
14	平成27年度 簡易水道事業会計決算の認定	全会一致認定	32	市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
15	平成27年度 園芸作物価格安定事業会計決算の認定	全会一致認定	33	簡易水道設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
16	平成27年度 水道事業会計決算の認定及び利益の処分	全会一致認定 及び可決	34	交通傷害保障条例を廃止する条例	全会一致可決
17	平成27年度 病院事業会計決算の認定	全会一致認定	35	四万十町立保育所及び幼保連携型認定こども園を四万十市の住民が利用すること	全会一致可決
18	平成28年度 一般会計補正予算	全会一致可決	36	高知県市町村総合事務組合規約の変更	全会一致可決

【平成28年9月定例会議員提出議案】

議案番号1 市長の専決処分事項の指定の一部改正

〃 2 議会基本条例の一部を改正する条例

〃 3 議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

【平成28年6月定例会より継続の陳情】

産業建設常任委員会所管

『開発行為により設置された地域下水道施設の移管について』⇒ 継続審査

ここを質す!

一般質問

質問順位	質問者	質問要旨	質問掲載ページ
1	平野 正 (一問一答)	1 29年度予算について 2 道路網の整備 3 学校再編成	3
2	上岡 正 (一問一答)	1 市長の政治姿勢について（2期目の取り組み、日本一の教育市を、地権者負担） 2 公設市場について 3 公共下水道事業について	4
3	白木一嘉 (一問一答)	1 産業の新興による雇用の創出を 2 安全な暮らしを支える都市づくりについて	5
4	川村一朗 (一問一答)	1 道の駅「よって西土佐」について 2 西土佐診療所の運営について	6
5	垣内孝文 (一問一答)	1 本市の新たな農業振興について 2 本市環境問題の取り組みについて 3 本市の介護保険関係について	7
6	谷田道子 (一問一答)	1 男女共同参画について 2 介護保険について	8
7	安岡 明 (一括)	1 市長の政治姿勢（参議院選挙の結果分析、成人年齢の引き下げ、安全・安心確保の取組など） 2 教育の諸課題 3 子育て支援	9
8	西尾祐佐 (一括)	1 環境制御技術普及促進事業について 2 学童保育について 3 ペット関連について 4 ドローンの活用について	10
9	大西友亮 (一括)	1 市長の政治姿勢について問う (市民病院、TPP、原発、メガソーラー）	11

※一般質問は、9月12日(月)、9月13日(火)の2日間で行われました！！



高速道路、実現へ一步前進!



道路網の整備

質問 四国横断自動車道、最新の情報は

答弁 この度、期成同盟会で国交省に陳情した。その結果、地域の切実な要望が同じ都市計画決定の手続きが開始された。

高速道路は、幡多地域発展の礎であり長年地域住民の夢である。幡多地域の発展には道路の整備がなくてはならない。

今後、高速道路を見据えた四万十市の街づくりに努める。

質問 県道大方大正線・山腹崩壊災害の復旧状況は

答弁 県の見解によると山腹崩壊は地滑りに起因するものでコンサルタントに調査設計を依頼している。復旧工事の詳細は、現在、国と事前協議中であり発注はその後となる。県も地元説明や意見交換を行つてきおり、市もこれに努めている。地元か

ら椎茸の栽培や林業の仕事に支障が出ないよう作業道の補修整備の要請があり、市もこれに対応した。復旧工事の情報については、随時、地元に提供して行く。地域の生活には支障がないように努める。

質問 県道住次郎佐賀線は、ホビー館等の中山間振興

答弁 によって改良が進められているが、この勢いを四十市側への改良につながるよう市も力を入れよ

答弁 この県道の改良整備は大変重要と認識している。改良整備には、用地の確保が必要で、市も地図混乱地域の地籍調査を行っている。勿論、市も同路線の改良に向け要望活動を行っているが、地元が県に要望に行く時も同行する等、積極的に行なつている。

答弁 今後も、これらの活動を続けて行く。

質問 富山地区の市道・県道各路線の改良計画を聞く

答弁 市道古尾大西ノ川線は、急カーブの回避や待避所の設置を行う。今後5年間で500mを目指して

答弁 再編検討委員会の決定事項は公表する。今後の展開は、今年度末に答申を得る。その後、教育委員会が保護者等との接触の機会を設けて行く。この委員会は、設置要綱に基づく教育委員会の付属機関である。

質問 小中学校再編成委員会について聞く

答弁 林道中村大正線整備区間に連携して改良整備に努める。



林道中村大正線

市議会だより

上岡 正 議員



日本一の教育市を目指せ 市民の命を守れ

質問 昨年、熊本と島根に勉強会に行かせて頂きました。教育には学校・家庭・社会の三本柱であると考えています。熊本県の山鹿市では登校拒否の生徒が熊本県下で一番の割合が多いことに危機感を感じたそうです。市長は毎日学校に出向き、人事にも力を入れた結果として登校拒否の生徒の割合は減り、学力も向上しました。

又、島根県の隠岐島前町では高校がなくなることを大変危惧しました。高校が無くなると15歳で子どもがいなくなるため大きな問題です。四十万市も同じような問題を抱えていると思います。これは予算も大切ですが、トップや職員のやる気が大きくて関係していると考えられます。

大学進学率についても全国平均より低い。女子に関しても全国平均とほぼ変わらないが、男子は平均より15%程低い。これは極端すぎると考えております。これは経済的問題だけ

では無いはずです。男女の余りの差に四万十市の将来を危惧しております。学問だけでなくスポーツについても熱心な指導者がいるところは生徒の人数等に関係なく、全国の上位に食い込むことは市長のふるさとでもある西土佐の駅伝、東中筋中学校のソフトテニスでも明らかです。

答弁 子どもの教育こそ国のがん幹をなし、市の将来を担うものであると信じております。市長のご意見を伺います。未来を託す子どもたちが郷土を愛し、高い志を持つことが出来る社会を作つて行きます。人材育成が当市の重要な課題であると認識しております。また、市民がいつでもどこでも学べる生涯学習社会を目指して行きます。



中村南小学校

答弁 25%という負担は、普通の家庭ではすぐ出せる方は少ないと思っております。各市町村で被災状況などによつても負担率に違いがありますので、市でも検討すると同時に、市長会でも議題として挙げたいと思つております。

市民の命を守れ

質問 がけ事業の負担金が高く、私が議員になつてから8件の内7件が諦めています。高知県内でも一番地元の負担が高い4分の1であり、工事費が50万円程度かかると、負担金は125万円になります。これは負担が大変重いと考えられます。お金がないので危険性を感じているにも関わらず、事業ができずに尊い命が失われる事態は絶対避けたいと考えています。負担金を出来るだけ下げるよう、尊い命を守れるように市役所内で検討をして頂きますようお願いします

白木
一嘉議員

産業の新興による雇用の創出を



質問 産業振興計画等の推進体制、進捗管理体制について問う

答弁 産業振興計画は、府内に検討チームを設置し、また民間実践者の柔軟な発想や意見を施策に反映出来る体制もとつていて。また、総合戦略は、府内に創生推進本部会議、産業界等の委員による創生会議で推進・進捗管理を図っている。

質問 活力ある四十市の活用を築くため森のもの活用を

答弁 産業振興計画の中に木炭も見直されているとあるが、又炭焼き窯などが集落に点在とあるが、説明を求める

産業振興計画は、府内に検討チームを設置し、また民間実践者の柔軟な発想や意見を施策に反映出来る体制もとつていて。また、総合戦略は、府内に創生推進本部会議、産業界等の委員による創生会議で推進・進捗管理を図っている。

質問 産業振興計画等の推進体制、進捗管理体制について問う

答弁 産業振興計画は、府内に検討チームを設置し、また民間実践者の柔軟な発想や意見を施策に反映出来る体制もとつていて。また、総合戦略は、府内に創生推進本部会議、産業界等の委員による創生会議で推進・進捗管理を図っている。

た、生活スタイル、消費者の嗜好の変化、中国産の輸出規制などもあると認識している。また、窯は、聞き取り調査で、中村地域で33基稼働基、西土佐地域で33基稼働基と確認している。

質問 雇用創出を目指し、備長炭製造技法を若者に伝承しようと、自分で窯を造り四十産備長炭の製造を目指している人がいる。品質の良い製品が誕生すれば、市の新しい産業として取り組むべきだ

答弁 現在、市内で備長炭の生産は把握できていない。品質の良い炭の生産が可能、実現出来ることになれば、需要もあることから見込みがあるものと考えている。今後、クリアしなければならない課題も多く、取組を進める中で、製造者から相談等があれば活用できる補助制度等、検討してまいりたい。

質問 羽生山開発について

答弁 羽生山は、今回の国交省の発表を受け、洪水・土砂災害対策等大災害時の避難場所として、開発の必要性が益々大きくなつてきただ。ご所見を聞く

質問 羽生山は、今回の国交省の発表を受け、洪水・土砂災害対策等大災害時の避難場所として、開発の必要性が益々大きくなつてきただ。ご所見を聞く

答弁 千年以上に一度の発生確率と言えども、ここ近畿で「これまで経験したことがないような」と表現された大雨が何度も発生している。全国的にも大規模な流量を誇る四十川に居を構えている以上、市民の皆さんと共にきちんと向き合つていかなければいけないと、水害に対する思いを新たにしている。



質問 国交省が今年5月30日、渡川水系の想定最大規模降雨の発表をどう受け止めているか

答弁 高台に位置する羽生山については中心市街地の避難場所として、優良な候補地の一つであると認識している。しかし、財源の確保や国・県との協議、調整も必要で、現在策定中の都市計画マスタープランの策定委員会において、慎重に協議してまいりたい。



道の駅「よって西土佐」の充実に向けて 西土佐診療所について



答弁 最も集客のあつた8月13・14日も近隣の駐車場、総合支所の駐車場で対応できた。しかし、イベント等の件も考えると、展望デッキ下等場所の検討も必要となるが、地権者との協議も含め、総合的に検討していく。

答弁 8月末時点でのふるさと市のレジ通過者94,300人、売上額8,600万円、ストローベイル山間屋のレジ通過者12,429人、売上額1,150万円、アユ市場のレジ通過者7,685人、売上額1,727万円だ。課題は冬場の集客。そのためフェアの開催や他の道の駅との連携、営業、外商に力を入れたい。人的支援では来年度から専任職員の配置は協力隊の2名は、引き続き雇用を継続する。

質問 道の駅「よって西土佐」の駐車場が狭いため、夏場の稼ぎ時等お客さんに対してものサービスの点で課題がある。また、駐車場を活用しての折々のイベントにも制約があり、今後の運営を大きく左右する。駐車場を拡張する考えはないか

質問 夏場を経て直近の集客数と売り上げ状況はどのようにになっているか。また、今までのサービスの点で課題がある。また、駐車場を活用しての折々のイベントにも制約があり、今後の運営を大きく左右する。駐車場を拡張する考えはないか

駐車場の拡張を

運営状況と今後の支援

商品開発への支援

医師の確保を



答弁 昨年度は5回の商品開発のワークショップを開催した。おからくドーナツ、かりんとう、シュー坊、ぽっぽ栗、手焼き米せんべい、ラー油等天然素材を意識した商品が販売されている。今後、川魚やイノシシ、シカ等の加工について商品開発に向けて支援したい。

質問 西土佐の生産物を生かしたお土産・加工品の商品開発の支援とジビエの活用を

答弁 診療所の役割と言った点では、安心して暮らしていくためになくてはならない施設と思っている。有病床診療所には病院からの受け入れをし、在宅介護への受け渡し機能、在宅患者の急変時の受け入れ機能、在宅医療の拠点、終末期医療を担う機能等がある。医師の招聘が困難な場合は現在の医師に勤務の延長をお願いしたい。

質問 診療所の役割をどのように捉えているか。また、現在の医師が来年3月で定年となられるとき聞かれていただけの医師の招聘が困難な場合は継続して勤務が不在とならないために手立ての工夫を

新たな農業振興策と 本市第6期介護保険 事業計画の取組について問う



垣内 孝文議員

質問 東洋医学の里構想の復活を図り、耕作放棄地への薬用植物等の栽培による農業振興策として取り組む考えは

答弁 現在下田の中医药研究所は休止状態にある。東洋医学科の医師の応募があれば経営面の問題等も含め協議し再開について検討を行いたい。癒やしの里構想による事業の中には薬草栽培は含まれていない。今後農業振興センター等専門機関の助言を受け、薬用植物栽培の可能性を探る。

質問 本市環境問題の中のゴミ処理の現況について

質問 本市環境問題の中のゴミ処理の現況について

答弁 27年度一般廃棄物の内ゴミ処理量は12,665t、リサイクル率は10.1%。ゴミ処理量は減少傾向にあるがリサイクル率は横ばい状況である。では本年度は13%を目指している。

質問 第6期介護保険計画では低所得者にも保険料を支払い続ける事を可能にする必要性から、保険料徴収を前期の7段階から9段階に見直し、公費を投

質問 65歳以上の介護保険料は年金が年額18万円以上の場合、天引きされるが満たなければ直接納めることとなっている。本市の滞納額は

答弁 過年度分は滞納者337人、1345万6千円程度となっている。

質問 本市平成27年度第1号被保険者数は11,450名、その内要介護、要支援認定者数は2,140人率にして18.7%。本年度から介護予防給付は全国一律のサービスか

質問 分ければ資源、混ぜればただのゴミ。庁内のゴミ削減の統一行動の取組は

答弁 役所内ではペーパー化と分別の徹底を図っている。学校関係では環境意識の向上。市民病院、給食センター等では生ゴミ処理機による堆肥化等による減量化に取り組んでいる。共通しての取組は分別の徹底によるゴミの減少化である。

質問 前期より13.6%アップし負担が重いと考えるが、滞納者を出さない取組と、滞納になつた場合給付サービスが受けられなくなるが、その場合とのべき支援措置は

答弁 標準月額は5,463円です。

質問 要支援者を対象としては市独自の事業として平成28年3月から現行相当サービスについて実施している。

答弁 要支援者を対象として訪問介護、通所介護については市独自の事業として平成28年3月から現行相当サービスについて実施している。



市議会だより

谷田 道子議員



避難所運営は女性の視点を大切に 介護保険の見直しに自治体の支援を求める

審議会などもつと女性の参画を

質問 「あらゆる分野に男女の性別を超えて同じよう

に参画し様々な考え方が反映される社会を目指したい」そんな思いで男女共同参画について質問をする。

答弁 政策や方針決定の場に女性が参画する事は市政に多様な意見を取り入れる上でも重要なことで、特に審議会などの女性の比率を高める必要がある。

答弁 28年度は女性の比率32・8%で毎年少しづつ増えている。来年度改定される共同参画プランの中に数値目標を設定したい。

避難所の運営に女性の視点を取り入れるよう求める

質問 熊本の被災地に支援に入ったNPO法人の理事は、「避難所には間仕切りがない・更衣室も授乳室もないなど東日本大地震と同じ問題が起きている」と発言している。「トイレが共用で、不安だった」「下着などの救援物資を男性から渡されるのはいやだった」などの話も聞く。

答弁 「非常時だから」と我慢を強いられてただでさえ困難な避難所生活をさらに苦しいものにしている。女性の視点を取り入れ安らで安心して過ごす事が出来るように手立てを取る必要があるのではないか

特に女性にたいしては格別の配慮・検討が必要と考へている。マニュアル作成時に女性の意見を聞くことは勿論であるが、避難所運営にも女性が積極的に参画し女性目線のニーズを反映できるよう検討を進めたい。

質問 国は要介護1・2の方への生活支援や福祉用具の自己負担など介護保険の更なる見直しを検討している。

答弁 国の施策として放置するのではなく、自治体として住民の暮らしをささえるために何らかの支援をする必要があるのでないか



高齢者福祉対策

質問 7月に作成した「四万十市高齢者在宅生活ガイドブック」は移動販売や配食サービスまで載つていて大変助かる冊子になっている。

答弁 全戸に保存版として届けるべきではないか



介護保険の更なる見直しについて対策を求める

質問 国は要介護1・2の方への生活支援や福祉用具の自己負担など介護保険の更なる見直しを検討している。

答弁 見直しには危惧をもつていて。自治体としては介護を予防する事にいつそう努めたい。

答弁 3千部作成して区長さんや民生委員の方などに届けている。今回も初版なので意見を聞き次回の作成時に参考にしたい。

住んでよかつた安心安全な街づくりの構築を



安岡 明 議員

市長の政治姿勢

質問 6月議会で自己採点の間に「市民病院」と「スピード感を持った市政運営」がマイナスと答弁されたが任期終了に向けた総仕上げへの取組について

答弁 「市民病院」は平成27年「経営健全化計画」を策定し給食業務の民間委託による経費節減や新たな診療報酬の取得、地域包括ケア病床の増床等収益向上への取組を図った。又職員給与の3級止めの交渉も進めている。10月より内科医師が着任予定だが今後も医師確保の取組に全力を挙げる。

「スピード感」については急激な人口減少による地域経済の縮小、社会保障費の増加等財政の逼迫が見込まれる為総合計画等を着実に推進していく。又、将来の四国横断自動車道延伸の効果をしつかりと受け止めることができる都市計画マスター・プランの策定も年度内を目指す。

す。市立文化センター、中央公民館の老朽化対策も「JA高知はた」本所との複合施設整備について現在調査・研究を進めている。



教育の諸課題

質問 学習指導要領改訂に向けて小学校の英語授業やプログラミングの推進状況は。又アクティブ・ラーニング推進の取組については

答弁 外国語授業は平成32年度から小学校5・6年生で教科として年間70単位実施、今までの外国語学習は3・4年で実施となる。本市では平成26年8月よりALTを3名から5名に増員、1校1役指定研究による小中連携した推進を図っている。今後、国・県の動向を注視し必要な施策を検討していく。プログラミング教育は人工知能

（A.I.）の飛躍的な進化の中、本市では1学級の児童生徒のコンピューターや電子黒板は配備済みでICTを効果的に取り入れた授業も実施中。アクティブ・ラーニングの推進は子ども達が「何を学ぶか」に加え「どの様に学ぶか」の視点から検討されてきた。本市では県の指定事業を受け、具同小学校・中村西中学校で先行研究を行っている。

質問 ピロリ菌検査補助やB型肝炎ワクチン定期接種化については

答弁 中高生を対象のピロリ菌感染検査は現在検討出来てない。B型肝炎ワクチン検査は平成28年10月から定期接種化する。

子育て支援

質問 安倍政権の地方創生戦略の一環として子育て世代包括支援センターの設置が推進されるが本市の進捗状況は

答弁 子育て支援のスタッフとなる妊娠期からの継続した支援に重点を置いた母子保険型の子育て世代包括支援センター機能を来年度から設置の方向で進めている。



下田中学校の防災教育発表



学童保育、ペット関連等について問う

環境制御技術普及促進事業について

質問 補助金の交付時期を早めることはできないか

答弁 J.Aと協議を行い、本年度は年内の事業完了を予定している。また事業の進捗を見ながら概算請求についても考えていく。早期の交付に努めていく。

質問 運営についての課題が多いと思うが、解決に向けての取り組み、方向性は

答弁 現在、指導員の待遇、保護者負担など各学級で異なる点も多いので、ガイドラインを作成し統一した運営ができるようを目指していきたい。

質問 「命の大切さ」や「人と動物の共生」など、教育ともつながるのではないか

答弁 現在、県が行う小学校低・中学年向けの動物愛護教室を推進している。また、今年度は企業と盲導犬

解を深めていくことが必要と考える。

ペット関連について

学童保育について

質問 各学級の会計（総会の資料等）に対する指導はどうしているのか

答弁 各学級から毎月事業報告書を提出してもらっているが、運営委員会総会の資料や予算・決算書には目を通していかつた。今後は事務の進め方等についても助言していく

質問 この2年間では具体的な取り組みはできていない。

答弁 簡単な机上でのシミュレーションや聞き取りなどはすぐにできると思うが、それらはできないか

質問 ペット観光などを通じて産業ともつながるのではないか

答弁 今年度から3年掛けで市内すべての指定避難所で避難所運営マニユア

質問 「命の大切さ」や「人と動物の共生」など、教育と

答弁 協会の協働による盲導犬の普及・啓発教室を実施した。今後も「動物との触れ合いを通しての命の尊厳」等の学習を継続的に取り入れていく。

ドローンの活用について

質問 現在のドローンの使用・活用状況は

答弁 序内ではまちづくり課が一台所有。災害時や国土調査等に使用している。また観光プロモーションムービーやパンフレット用の写真撮影等にも使用している。



質問 現在は、必要な時の使用に限られているが、積極的に活用し産業に繋げることも考えてみてはどうか

答弁 ペット連れの観光客の受け入れ態勢の充実を図り、ペットに優しい地域を目指すことも検討しているが、産業にしていくには関係機関や各団体等と意見交換していくに検討していく。

答弁 農林業や観光、ウルトラマラソン等での活用を

大西
友亮議員

TPPは食の安全・安心を脅かす! 電力は原発再稼働しなくても 十分足りている!



TPP

質問 TPP締結によつて日本の「食の安全安心」が脅かされる可能性がある。「遺伝子組み換え食品」だ。人類史上未経験の食品だけに、これからどんな影響が人体に出るのかは誰もわからない。

答弁 このように市民の食の安全が脅かされる可能性がTPPにはある。TPPの加入によつてデメリットが多いと思うが、市長はどうに考えるか

答弁 遺伝子組み換え作物は心配している。現在の原産地表示と同じように遺伝子の組み換え作物についても「遺伝子組み換え」表示がないと消費者が安心して選択することができない。

答弁 しかし、批准の方向で進んでいるのでどう対応していくかが大切。やり方によつては、メリット、デメリットどちらにも影響する。政府の交渉は一定評価

している。四万十市としては四万十農法米やブシュカン、米ナスなどの作物を外に売る地産外商と、わさびなどの新作物を育て、若者の担い手づくりの育成に力を入れたい。

メガソーラー

伊方再稼働

この問題については全国各地で同じような事案があり、県の協力も得ながら混乱することはないよう取り組んでいく。一方、佐賀の取水堰も一定年数が経過しており、阿南火力発電所も老朽化している。原発に依存しないエネルギー政策は、市民、国民共有の思いであり、伊方原発と並行した中で今後のエネルギー政策を考えなければならない。

質問 再稼働した伊方原発は電力の安定供給のためではない。日本全体で節電や省電力が進んでおり、夏の電力最大需給日も原発ゼロで過ごした。市長が言う「電力不足のため再稼働はやむを得ない」というのは全く当たらない。

質問 再稼働の目的は四電の収益のための身勝手なものだ。安定供給と言うが、四電は関電や中国電力から供給を受ける協定を結び、需要緊迫が予想される時にピーク需要を軽減する方法もある。再稼働しないでも十分電気は足りている。市長はどう考えるか



メガソーラーが予定されていた三里地区

答弁 十分足りているのは認識している。

◎ 9月定例会で提出された 意見書は「2件」で全て可決されました！！

①参議院の選挙制度改革において合区の解消及び抜本的な見直しを求める意見書

(垣内孝文ほか 8名…全会一致可決)

この度の参議院選挙では、初めて隣り合う2つの県を一つにすることで、「1票の格差」は正を目的に、鳥取県と島根県、徳島県と高知県が一つの選挙区となる「合区選挙」となり、隣県とはいえ、文化や歴史、風土が異なる2つの県を一つとして行う選挙は投票率の結果からも違和感を抱かざるを得ません。両県の民意に対しどこまで応えられるかが問われました。投票率は出身候補を欠いた高知県で45.52%と全国フースト1位、徳島県は46.98%でフースト2位と両県とも過去最低の結果となりました。本県では無効票が前回参議院選挙の1.7倍に増え投票行動にも反対と受け止められる結果となりました。本年7月に開催された全国知事会では都道府県ごとの意思が国政に届かなくなるとして、早急に解消することなどを目指す決議を採択しました。都道府県を行政単位とするなか、現下においては地方創生を推進している折、合区は県民から政治をなお一層遠い存在にするおそれを含んであります。

よって下記のとおり要望するものであります。

1. 次回選挙からは、地方の声が確実に国政に届けられるよう合区選挙区が解消され、各都道府県1名を選ぶ選挙が実施されますよう法的措置を強く要望いたします。

②地方財政の充実・強化を求める意見書

(宮本博行ほか 8名…全会一致可決)

1. 社会保障、被災地復興、環境対策、地域交通対策、人口減対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療構想の策定、地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方交付税における「トップランナー方式」の導入にあたっては、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度合いを十分考慮し、住民生活の安心・安全が確保されることを前提とした合理的なものとし、交付税の財源保障機能が損なわれないようにすること。
4. 復興交付金、震災復興特別交付税などの復興にかかる財源措置については、復興集中期間終了後の2016年度以降も継続すること。また、2015年度の国勢調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないよう、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。
5. 地域間の財源偏在性のは正のため、地方偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。

同時に、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないよう対応をはかること。

6. 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」「重点課題対応分」および「まち・ひと・しごと創生事業費」については、自治体の財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換をはかるため、社会保障、環境対策、地域交通対策など、経常的に必要な経費に振り替えること。
7. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

◎「住民と議会との懇談会」を開催します！！

市議会では、毎年、15会場に出向き「住民と議会との懇談会」を開催しています。懇談会の内容は、始めに20分程度、議会の報告を行い、残り時間は、皆さんとの「意見交換会」としています。

皆さんの貴重な意見をお伺いしたく、ぜひご参加をお願いします！

開催場所	日 時	担当班
下田地区集会所	平成28年11月8日(火) 19:00~	A班
富山地区集会所		B班
かわらつこ	平成28年11月9日(水) 19:00~	A班
J A高知はた北部出張所		B班
西土佐総合支所2階会議室	平成28年11月10日(木) 19:00~	A班
西富山活性化センター	平成28年11月11日(金) 19:00~	A班
J A高知はた東部出張所		B班
具同田黒集会所		C班
四万十市立中央公民館	平成28年11月12日(土) 13:00~	A班
大宮生活改善センター	平成28年11月14日(月) 19:00~	B班
有岡老人憩いの家		C班
間崎多目的集会所	平成28年11月15日(火) 19:00~	C班
J A高知はた西部出張所	平成28年11月16日(水) 19:00~	B班
南津地区サテライト	平成28年11月17日(木) 19:00~	C班
古津賀ふれあい会館	平成28年11月18日(金) 19:00~	C班

【懇談会の開催日程！！】

A班	代表 宮崎 努・安岡 明・今城照喜・山崎 司・垣内孝文・大西友亮
B班	代表 白木一嘉・藤田豊作・川村一朗・平野 正・上岡 正・西尾祐佐
C班	代表 宮本幸輝・宮本博行・上岡礼三・矢野川信一・勝瀬泰彦・谷田道子

編集後記

落陽の深まりと共に、諸々の収穫、まさに秋たけなわの時期を迎えるました。

皆様方には、それぞれの立場でご精

進されております事にお慶び申し上げます。さて、9月議会が9月5日開会され23日に閉会となりました。その

間広報でしめされたとおり一般質問9名、27年度の行政執行実績を示す決算議案がすべて全会一致で認定となりました。11月は議会基本条例で明記されています。議会活動に様々な視点で意見交換

議会を市内15ヶ所で実施いたします。されるとおり市民と議会との懇談会を市内15ヶ所で実施いたします。議会活動に様々な視点で意見交換をし市民の代弁者として少しでも前進すべく努力する所存です。多くのご出席をお願いします。次第と寒さが増してきます。お身体にお気をつけてお過ごしください。

西垣安川上宮今宮
尾内岡村岡本城崎
祐孝 一礼博照
佐文明朗三行喜努

広報広聴委員会

委 副 委
員 員
員 長 長

西垣安川上宮今宮
尾内岡村岡本城崎
祐孝 一礼博照
佐文明朗三行喜努

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827
お問い合わせ、ご意見等については「四万十市議会」まで

次回定例会は12月5日です。傍聴にお越し下さい。

（西土佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます）

※議会会議録は市ホームページ (<http://www.city.shimanto.lg.jp>) で閲覧できます。

※平成28年9月定例会会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は11月末の予定です。

[Ustreamによる議会ライブ中継は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

[You Tubeによる録画映像配信は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

[市議会のフェイスブックは…]

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

[市議会のホームページは…]

URL:<http://www.city.shimanto.lg.jp/gyosei/sigikai/sigikai.html>

[市議会のLINEは…]

表紙のQRコードを読み込むか、LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』